



好学愛知 自律敬愛 質実剛健

鶴鳥イ言

「二十五日間の休暇」

生徒指導課

少年の夏シャツ右肩

裂けにけり(草田勇)

少年だった夏の、ある鮮烈な一瞬が蘇ってくるような懐かしさとともに、どんなかたちであれ若者に固有の一途さといったものを感ぜさせられます。それはまた、教師である私たちがそんな彼らにどれほど応えられているのか、という自問ともなります。

夏休みは大学受験へと向かう多忙な現代の高校生にとっても、やはり日常とは異なる時間です。その一途さゆえに若者たちが意外な変貌を遂げ、新たな自己を発現することの多い時といつてよいでしょう。補講や部活の取り組み、外出先帰宅時間、新たな友人関係、将来の展望など、保護者の方々とともに彼らの在り様を冷静に見守り、語るべきことは語って行きたいものです。さて、本年度の本校の夏休みは、八月二十八日まで三十九日間。「悠学講座」が、一・二年生十四日間、三年生十七日間。つまり一・二年生の場合休日合計すると二十五日間(連続する休日は八月三日〜十六日までの十四日間)となります。八月末は前期末考査もありますが、その日々はともあれ生徒諸君の手に委ねられます。夏休みの課題や補講・部活を抱えな

8・9月の行事予定

8 月		
1	月	
2	火	夏季悠学講座1・2年終了
3	水	
4	木	
5	金	夏季悠学講座3年終了
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	
17	水	
18	木	定期演奏会
19	金	
20	土	全統マーク(3年)
21	日	全統マーク(3年)
22	月	
23	火	夏季悠学講座終了
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	夏季休業開け授業開始 全校朝会,中掃除,LHR
30	火	前期末考査(1日目)
31	水	前期末考査(2日目)
9 月		
1	木	前期末考査(3日目)
2	金	前期末考査(4日目)
3	土	PTA研修旅行
4	日	土曜悠学講座(1~3年)
5	月	
6	火	全校朝会
7	水	
8	木	体育祭準備・予行
9	金	体育祭予行予備日,中掃除
10	土	体育祭
11	日	
12	月	体育祭代休日
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	3年校内模試(1日目)
17	土	土曜悠学講座 3年(2日目)
18	日	全統記述(3年)
19	月	敬老の日
20	火	
21	水	
22	木	
23	金	秋分の日
24	土	
25	日	県職員採用試験
26	月	学年朝会
27	火	前期終業式,大掃除
28	水	前期休業日
29	木	前期休業日
30	金	前期休業日



ディズニーランド(シンデレラ城)の中で先輩方の高校時代の話や仕事に対する情熱、生き方に触れ、どの生徒もたいへん勉強になったという感想であった。さらに職場の見学までさせていただき「仕事」を意識するたいへんよい機会になった

七月十三日(水)六時過ぎに鹿児島空港へ向けて学校を出発。途中降っていた雨もあがり、少し遅れての離陸であったが東京へと飛び立った。十時、羽田空港着後バスにて品川まで移動、生徒はGO鶴セミナーへグループごと出発した。初めは慣れない土地、電車の乗り継ぎで緊張していたが、訪問先で先輩を迎えられるとほっとしてリラックスできたようである。飛行機の遅れのためそれぞれの訪問先への到着時刻が少々ずれ込んでしまったが、限られた時間

がらどのように自らの時間を演出していくのか。二十五日間もあるという視点に立てば、それは日常とは異なる何事かを成すに足る時間であるはずだ。「かえらざる三年」に貴重な一ページが、また書き加えられることを期待したいと思います。

飛躍への旅 二年生修学旅行記録



日本科学未来館(超伝導の実験)

七月十四日(木)六時起床、七時朝食、八時過ぎにはクラスごとコース別研修(上野公園コースや横浜コース)へ出発した。東京大学で卒業生に声をかけられた生徒や、偶然上野で演奏会に遭遇できて感激していた生徒など、それぞれの場所で自由散策など行い、夕方四時までにはどのクラスもディズニーリゾートに到着、比較的来園者の少ない中で思う存分アトラクションや買い物など楽しめたようである。気温もこの時期にしては低く快適であった。最後のショーを見ながら集合し、夜八時四十五分にはディズニーリゾートを出発してホテルへ向かった。七月十五日(金)六時半起床、七時半朝食、最終日ということもあり、

た。その後各自でホテルまで戻り夕食をすませ、バスにて四季劇場へ向かった。四季劇場では劇団四季による「ライオンキング」(一部の生徒は「オペラ座の怪人」)を観劇。目の前で繰り広げられる迫力のある演技・歌に引き込まれ、あつという間に三時間が過ぎてしまった。生徒たちは「素晴らしい」「また見てみたい」と大変感動し、帰りのバスの中では興奮している様子だった。

花園コンクール結果

学年	一位	二位	三位
一学年	17 R	18 R	16 R
二学年	26 R	23 R	22 R
三学年	37 R	32 R	38 R

今回から試験的に特別賞を設けました。各賞の該当クラスは以下のとおりです。

グッドティイスト賞	29 R
ビッグインパクト賞	39 R
雅賞	38 R



荷物を整理して九時にはホテルを出発。日本科学未来館に到着し、まずはクラスごとに写真撮影。日本科学未来館では宇宙・地球・人体という大きな視野で捉えられた科学技術についての実験や説明などを聞き、特に理系の生徒たちが感銘を受けていた。近くにある船の科学館で昼食をとり、東京での訪問地はここが最後となった。バスで羽田空港へ向かい午後三時発の飛行機で鹿児島へ帰着。多くの生徒が鹿児島中央駅近くで下車、解散となった。三日間を通して、東京は曇り空で涼しく、大きく体調を崩す生徒もいなかったことはありがたかった。ハードな日程であったが、その中で多くのことを学び、楽しんでいったようである。